# 令和5年度 栃木県中学校柔道大会要項

## 1 日 時 (1) 目にち

	総合体育大会	新人体育大会		
1日目 団体戦	7月7日金	11月4日(土)		
2日目 個人戦	7月8日(土)	11月5日(日)		

## (2) 日 程

, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
	1 月目	2 日 目						
7:50	役員集合	7:50	役員集合					
8:00	生徒開場、会場設営開始	8:00	生徒開場					
9:00	保護者受付開始	8:30	選手受付終了(計量・柔道衣検査開始)					
9:30	9:30 選手受付完了(計量·柔道衣検査開始)		保護者受付開始					
10:00	計量終了	9:00	計量終了					
10.00	審判監督会議	9:20	審判監督会議					
10:45	競技開始	10:00	競技開始					

- 2 会 場 栃木県総合運動公園ユウケイ武道館【栃木県宇都宮市西川田 4-1-1】
- 3 参加資格 (1) 中学校
  - ア 参加者は栃木県中学校体育連盟(以下県中体連)加盟の学校に在籍し、各地区から選出され、当該中学校長の承認を得たチームおよび個人とする。
  - イ 選手の大会参加については、1競技を通じて同一チームからの参加とする。
  - ウ 本大会の地区予選参加後に転校した場合、転出先で団体戦の出場は認めない。
  - エ 参加する生徒は、学齢・修業年限が一致していること。ただし、その年度の6月30日まで に、地区を通じて県中体連に申し出、承認を得た生徒はその限りでない。
  - (2) 地域スポーツ団体等
    - ア 別に定める参加資格の特例(県中体連HP)にある条件の満たし、県中体連に参加を認められ、届け出をしている所在地の地区から選出された中学生とする。
    - イ 公益財団法人全日本柔道連盟が定めた令和4年度期間内において、栃木県柔道連盟を通して全柔連に加盟、登録を済ませた場合、以下の①~③の条件で出場できる。
      - ① チームとして「団体登録」を済ませている→ 団体戦に出場可
      - ② 競技者として「競技者登録」を済ませている→ 個人戦に出場可
      - ③ 同一年度中は、最初に参加した所属チームからの変更は認めない。
  - (3) 総合体育大会における団体戦チーム数及び個人戦選手数の地区割り当て

ĺ		宇河	鹿沼	日光	芳賀	下都賀	塩谷	那須	南那須	佐野	足利	前回大会
ĺ	男子団体戦	5	1	0(1)	3	4	3	5	1	1	1	ベスト4地区
女子団体戦 地区大会に出場した学校数を2分の1した数(0.5は切り上げ)を地区の参加校割り当						参加校割り当てと						
	女丁凹体戦	♥ し、そこに前回優勝、準優勝校を加えた数とする。										
ĺ	男女個人戦	4	1	1	3	3	2	4	1	1	2	ベスト4地区

- (4) 新人体育大会の割り当てについては総合体育大会の代表者会議で決定する。
- (5) 参加資格の制限
  - ・ 柔道を始めて6か月に満たない者は出場することができない。(全柔連の方針)
  - · 新型コロナウイルス感染症に関する、栃木県「警戒度に関する判断基準となる指標の推 移」の警戒度レベルが「県版ステージ 2「感染注意」」以上の場合、原則規模縮小実施とな るため、大会会場の収容人数や、感染症対策・安全対策等を考慮し、大会ごとに決定する。
- 4 競技種目 (1) 団体
- (1) 団体戦 男子・女子
  - (2) 個人戦
    - ア 男子8階級

50kg級(50.0kg以下)、55kg級(50.0kg超~55.0kg以下)

60kg級(55.0kg超~60.0kg以下)、66kg級(60.0kg超~66.0kg以下)

73kg級(66.0kg超~73.0kg以下)、81kg級(73.0kg超~81.0kg以下)

90kg級(81.0kg超~90.0kg以下)、90kg超級(90.0kg超)

## イ 女子8階級

40kg級(40.0kg以下)、44kg級(40.0kg超~44.0kg以下)

48kg級(44.0kg超~48.0kg以下)、52kg級(48.0kg超~52.0kg以下)

57kg級(52.0kg超~57.0kg以下)、63kg級(57.0kg超~63.0kg以下)

70kg級(63.0kg超~70.0kg以下)、70kg超級(70.0kg超)

#### 5 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定【2022-2024のルール】及び国内における少年大会特別規定 【(2022.1.24改正)】及び県中体連柔道専門部の代表者会議の申し合わせ事項により行う。
- (2) 試合時間は団体戦・個人戦ともに3分とする。
- (3) 勝敗の判定基準成り立ちは以下のとおりとする。

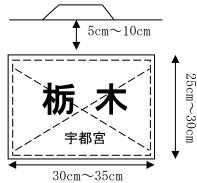
「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」(僅差とは「指導」差2)

## ア 団体戦

- (ア)優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「僅差」とする。
- (4) 得点差がない場合、「指導」差1の場合は「引き分け」とする。
- (ウ) 代表戦は任意の選手とし、優勢勝ちの判定基準は本戦と同様とするが、3分間で得点差がない場合は、延長戦(時間無制限のゴールデンスコア)により、必ず勝敗を決する。

#### イ 個人戦

- (ア)優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「僅差」とする。
- (4) 得点差がない場合、「指導」差1の場合は延長戦を行う。
- (ウ) 両試合者が同時に「反則負け」の場合は、延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
- ウ 延長戦 (時間無制限のゴールデンスコア)
  - (ア) 「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。
  - (イ) 延長戦において、両試合者が同時に「反則負け」になった場合は、また延長戦を始める。
- (4) 団体戦チーム編成
  - ア 男子団体戦のチーム編成は選手5名、補欠2名(ただし、選手3名以上)とする。
  - イ 女子団体戦のチーム編成は選手3名、補欠1名(ただし、選手2名以上)とする。
  - ウ 体重の重い選手を大将とし、以下体重順に編成し、試合ごとに選手の位置を変えることは できない。
  - エ 補欠選手を繰り入れた場合も、順次体重順とし、一度退いた選手は、再出場できない。
- (5) 柔道衣・ゼッケン
  - ア 柔道衣についてはルールに適合したものを使用する。
  - イ ゼッケンについて



- ①布地は白色とする。
- ②サイズは、縦 25cm~30cm、横 30cm~35cm とする。
- ③字は横書き、太字ゴシック体(楷書・明朝でもよい)
- ④字の色は、男子は黒色、女子は濃い赤色
- ⑤字(姓)は、上側 2/3、学校名は下側 1/3 に書く。
- ⑥縫いつけの場所は後ろ襟から 5cm~10cm、対角線に もミシンで縫いつける。
- ウ 女子は、上衣の下に半袖の白色丸首シャツを着用すること。(学校の半袖体育着は可)
- (6) 脳振盪対応について (選手及び指導者は下記事項を遵守すること)
  - ア 大会前1か月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得る
  - イ 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とし、至急専門 医(脳神経科)の精査を受けること。
  - ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - エ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 6 競技方法 (1) 団体戦

ア 男女ともにチーム対抗のトーナメント方式とする。

- イ チーム間の勝敗について
  - (ア) 勝ち点の数により決定する。
  - (4) 勝ち点が同数の場合は内容により決定する。
  - (ウ) 内容も同じ場合は任意の選手による代表戦によって決定する。
- (2) 個人戦

ア 男女ともに階級別のトーナメント方式とする。

- イ 参加人数が3人の場合はリーグ方式とする。
- (3) 団体戦、個人戦ともに3位決定戦を行う。

### **7** 表 彰 (1) 団体戦

上位4校に賞状、優勝校には優勝旗を授与する。

(2) 個人戦

上位4選手に賞状、優勝者には優勝カップを授与する。

(3) 総合体育大会

ア 団体戦優勝校、個人戦優勝者は全国大会に出場する。

イ 男子団体戦上位4校、女子団体戦上位3校、男子個人戦上位3名、女子個人戦上位2名は 関東大会に出場する。

## 8 監督·引率 (1) 引率

本大会に出場するチーム・選手の引率者は、部活動やクラブチームの指導中における暴力・体罰・セクハラ・暴言等により、柔道連盟や行政、学校設置者等から懲戒処分を受けていない者であることとする。

(2) 監督・コーチ登録

	中学校	クラブチーム			
監督	出場選手の所属する中学校の教員・部活動指導員で公認柔道指導者資格(学校顧問特例資格含む)を有する者(男女別も可)	出場選手が所属する団体に全柔連登録			
コーチ	出場選手の所属する中学校の教員・部活動指導員、県中体連に登録している外部指導者で公認柔道指導者資格(学校顧問特例資格含む)を有する者(男女別も可)	がされていている指導者で公認柔道指達者資格を有する者 (男女別も可)			

- ※ 別に定める栃木県中学校体育大会監督・引率細則にあてはまる場合はその限りでない。
- (3) 審判員に準じた服装をすること。

## 9 外部指導者 (1) 外部指導者とは以下の者をいう。

- ア 各中学校長から文書(様式は自由)にて承認を得ている者
- イ 年間を通して計画的・継続的に生徒を指導している者
- ウ 地区主任に学校用外部指導者登録届(様式5)を提出し、地区主任が地区主任用外部指導 者登録届(様式6)を県春季代表者会議に提出し、県中体連柔道専門部に登録され、大会運 営(審判・役員)に協力できる者
- エ その他関東中体連の外部指導者規定にあてはまる者
- (2) 外部指導者は監督同席のもと監督会議および審判会議に出席できる。
- (3) 大会参加申込用紙に記入した1名のみ、試合場に入ることができる。ただし、同一大会において男女団体戦・個人戦をとおして、同一人物とする。

## 10 ベンチ入り

- (1) ベンチ入りできるのは1校につき、監督1名、コーチ1名の計2名までとする。
- (2) 他校の教員、登録していない外部指導者、保護者のベンチ入りは一切認めない。
- (3) 監督・コーチは試合が止まっている間(「待て」から「始め」の間)のみコーチングや応援等を 行うことができる。守られない場合は主審が指導を行い、2回目の指導で試合場から退席させ られることになる。
- (4) ベンチ以外からコーチングや応援等をしてはならない。

## 11 申込方法 (1) 県大会出場校顧問

県中体連 HP (http://business3.plala.or.jp/tochichu/) からダウンロードした各種様式の うち、県大会参加申込書(様式1)、県大会掲示用オーダー用紙(様式2)はプリントアウトし たもの、県大会プログラムオーダー用紙(様式3)はデータを地区主任へ提出する。

## (2) 地区主任

- ア 地区内で県大会に出場する学校から提出された書類(様式1・2)とデータ(様式3)を取 りまとめ、代表者会議に提出する。
- イ 地区別結果一覧(様式7)、県大会審判員、役員地区別報告書(様式8)を地区大会終了後 速やかにデータで三島中学校(k. funabashi@nasushiobara-be. ed. jp) ヘメールで送り、代表 者会議に用紙を提出する。

### (3) 選手変更

ケガ等で団体戦選手又は個人戦出場を変更する場合は、県大会選手変更願(様式4)に必要 事項を記入し、受付の際に本部へ提出する。計量後に提出されたものは受理しない。

## 12 代表者会議 (1) 日時

	総合体育大会	新人体育大会		
日にち	6月23日(金)	10月24日(火)		
開始時刻	14:00~	13:00~		

## (2) 場所

栃木県総合運動公園ユウケイ武道館

- (3) 細部については代表者会議で決定する。
- 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県中学校体育連盟「危機管理 13 安全対策 マニュアル」「EPA シート」に則り、適切に対応する。また、新型コロナウイルス感染拡大予防に 関しては、栃木県中学校体育連盟主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に

## **14 そ の** 他 (1) シードについて

## ア団体戦

則り、感染予防対策を講じる。

前回大会上位8チームを地区に割り当てる。そのうち、上位4校は第1シードから第4シ ードに振り分ける。残りの4校は第5シードから第8シードに抽選で振り分ける。新人体育 大会については推薦で上位8校を決定する。

### イ 個人戦

前回大会で入賞した上位4名を輩出した地区に割り当てる。ただし、その選手が地区大会 において同階級に出場していない場合は除く。新人体育大会については総合体育大会で入賞 した 1・2 年生が出場する場合は最優先にシードし、次いで各地区の優勝者をシードする。

- (2) 各地区の出場校数・出場選手数は、3年ごとに検討する。
  - ア 令和5年度から新方式で実施する。
  - イ 次回は令和7年度に検討し、令和8年度から新方式で実施する。
  - ウ 市町村合併などで地区大会の区分が変わった場合はその限りでない。
- (3) 柔道部のない学校で個人戦に参加する引率教員も、会場係等に割り当てることがある。
- (4) 参加校は各地区主任を通して、栃木県中学校体育連盟柔道専門部へ4月上旬の指定された期 日までに登録すること。
- (5) 医師のいない大会においては、安全確保のために主催者の判断で選手を棄権させる場合があ る。